



町勢要覧

KOORI TOWN

献上桃の郷[®] 福島県桑折町

ともに未来へ。



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

〒969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地 7

TEL : 024-582-2111 FAX : 024-582-2479

HP : <https://www.town.koori.fukushima.jp>



ともに未来へ。

先人たちが歩んできた一歩一歩が道となり、
桑折町の今を築いてきた
そして、今を生きる私たちが、
新たな道を切り拓く
新たな出会いが新たな風を起こす
未来へつながるこの風を、桑折町から――。

CONTENTS

ともに未来へ。……………	2
まちの誇りを未来へ。……………	
01 誇りある桑折の献上桃……………	4
02 誇りある桑折の歴史……………	6
03 誇りある桑折の自然……………	8
04 咲き誇る桑折の笑顔……………	10
個性を生かした産業の振興……………	12
そして未来へ。……………	14
桑折ガイドマップ……………	16
数字で見る桑折町……………	18
交通アクセス・町のシンボル……………	19

桑折町ロゴマーク

町の財産である自然や歴史、文化を「桑折ブランド」として確立し、さらに町のイメージアップや交流人口の拡大などを目的としています。

濃い桃色が「町民の皆さんのあたたかさ」、薄い桃色が「桑折町の桃」、緑色が「半田山」をはじめとする豊かな自然、黄色が「桃の果肉」や「旧伊達郡役所」、「ホタルの光」を表しています。



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

桑折町は、緑豊かな美しい自然と数多くの史跡や伝統ある歴史と文化を感じることが出来る町です。

また、交通網では、ＪＲ東北本線および東北新幹線をはじめ、国道４号線、東北自動車道が縦貫、さらに、常磐自動車道と連結する東北中央自動車道（相馬福島道路）が横断するなど、交通インフラが充実しております。

新たな桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」では、「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」を将来像として掲げ、「住み続けたい住みたいまち 桑折」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいます。

この要覧にて、当町を知っていただき、さらに、町政発展にお力添えをいただければ幸いです。



町長 高橋 宣博

ごあいさつ



誇りある桑折の 献上桃

「献上桃の郷」として知られる桑折町は、誰もが認める高品質な桃の産地です。半田山からもたらされる豊富な水、盆地特有の昼夜の寒暖差、肥えた土壌、そして、かつて養蚕業が盛んだったところから、長く培われてきた生産者の誇り。先人たちが積み重ね、築き上げた桑折の桃は、味も香りも良い、町自慢の逸品です。



国内最高峰の桃 甘くジューシーな味わい

桃の産地として有名な桑折町。さまざまな品種の中でも、「あかつき」は、平成6年以降連続で皇室に献上されている逸品です。かつて養蚕業が盛んだったところから、探求心と向上心を併せもつ生産者が多く、全国に先駆けて、桃の糖度を可視化できる光センサーを導入。さらに、減農薬栽培にも取り組み、安全安心な桃づくりに努めてきました。こうした生産者の努力と桃の品質が認められ、「献上桃」に選ばれています。

太陽をたっぷり浴びて育った「あかつき」は、7月下旬から8月初旬にかけて最盛期を迎えます。糖度が高く、果肉が厚いのが特徴。かむほどにあふれ出す果汁がジューシーな味わいをもたらしてくれます。

他にも、桑折町では、6月下旬から9月下旬にかけて、およそ20種類もの品種を栽培しています。品種によって、おもしろい特徴もそれぞれ違います。お好みに合う、甘みと酸味の絶妙なバランスや芳醇な香りを、ぜひお楽しみください。



よりおいしい桃を目指して研究

桃農家 大槻 栄之さん

日ごろから生産者同士で勉強会を開催し、品質の高い桃づくりのために切磋琢磨しています。近年は、樹間を広くして日当たりを良くし、1本1本をしっかり管理しています。桃は、花が咲いてから収穫までの期間が短く、早い時期からの養分管理が肝心です。新芽の高い充実度が私のモチベーションになっています。これからもおいしい桃づくりに励みます。

町産桃「あかつき」を使った6次化商品「至福の桃」シリーズ



ソルベ

果汁率75%、香料無添加で仕上げられ、まるで桃をそのまま食べているかのような味わいとなめらかな口当たりが特徴のソルベです。



飲むこんにやくゼリー

桃の果汁に加え、食物繊維やコラーゲン、ヒアルロン酸を配合したプルプル食感の飲むゼリー。季節を問わず一年中、桃を楽しめます。



グミ

UHA味覚糖株式会社と桑折町が共同開発した、桃の甘さと香りが楽しめるグミです。おやつや福島県の土産品としても最適です。



旧伊達郡役所

1977(昭和52)年6月27日に国の重要文化財に指定された町のシンボリックな建物です。1883(明治16)年の建築物で、総二階建てで、中央に塔屋が設けられています。洋風建築の技法の中に、和風建築の様式が取り入れられ、全体としては「擬洋風建築」となっています。



奥州・羽州街道分岐点「追分」

江戸時代の東北地方における二大街道、奥州街道と羽州街道の分岐点。奥州街道は、仙台・盛岡を通り、羽州街道は、山形・秋田・弘前を通り、2つの街道は、青森郊外の油川で再び合流します。江戸時代に描かれた挿図に基づいて、道標や句碑、柳の木が整備され、往時の様子が再現されています。

半田銀山

半田銀山は佐渡金山・生野銀山とともに日本三大鉱山に数えられ、江戸・明治時代に隆盛を極めました。産出量減少に伴い、幕末に江戸幕府が閉山したものの、1874(明治7)年に薩摩藩出身の五代友厚が経営し、全国最大の銀産出を記録するまでに成長させました。半田銀山史跡公園には、明治時代、銀の鉱滓を運ぶための軌道と羽州街道が立体交差するために架けられた橋の石垣が遺跡として残されています。



五代 友厚 (国立国会図書館蔵)



史跡桑折西山城跡

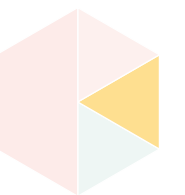
1532(天文元)年ごろ、陸奥国守護・伊達氏14代植宗が築いた巨大な山城。この城で伊達家の分国法「塵芥集」の制定や「天文の乱」が起きました。巨大な空堀や枡形出入口など多くの遺構が残る城跡は、平成2年に国の史跡に指定され、植宗が政務を行った建物の間取りも復元されています。

伊達氏発祥の地として知られる、桑折町。

東北の中世の幕開けを告げる寺院と戦国時代の山城、

かつての宿場町の風情が楽しめます。

桑折町は、東北の大名伊達氏発祥の地と知られ、初代朝宗の墓所や伊達氏に関連する史跡、寺院が数多く残されています。約490年前に伊達氏17代「独眼竜」政宗の曾祖父14代植宗が築いた山城「桑折西山城」は、国史跡に指定されています。江戸時代には、新田開発のための農業用水「西根堰」の開削や、日本三大鉱山「半田銀山」の本格的な採掘、蚕種生産の興隆により、幕府の陣屋が置かれるなど、政治経済の中心として繁栄するとともに、交通の要衝「奥州・羽州街道」分岐点(追分)の宿場町としても大いににぎわいました。1883(明治16)年には、「伊達郡役所」が置かれ、郡一帯の政治の中心地となりました。その木造擬洋風建築物は、現在も国指定重要文化財として、町のシンボルになっています。



歴史

誇りある桑折の

交通の要衝として栄えた
政治経済の中心地
歴史と文化の薫り高い町



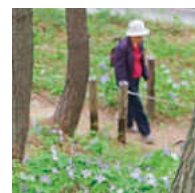
誇りある桑折の

自然

四季折々、さまざまな美しい表情を魅せる情景は、歩きたびに、移り変わる自然の豊かさを、肌で感じることができます。緑豊かな町を次世代に引き継ぐため、自然環境の保全に努めながら、花や緑があふれる空間づくりに取り組んでいます。

美しい自然が彩る桑折の四季
人と自然がやさしく寄り添う町

山や川に恵まれ、自然が豊かな桑折町。標高863mの名峰・半田山を町のシンボルとし、桃色に染まる桃源郷、エメラルドグリーンに輝く半田沼や産ケ沢川に現れるホタルが描く緑色の軌跡、陣屋の杜公園に広がる落ち葉のじゅうたん、うぶかの郷の雪と氷が織りなす白銀の景色など、彩り豊かな四季の風景があります。人と自然がやさしく寄り添い、自然の生命力が、町に住む人や訪れる人々に安らぎと力を与えています。



咲き誇る桃源郷

桃の花の見ごろは4月中旬。ピンク色に染まる桃畑は、春の訪れを告げる町の風物詩です。特に伊達崎地区では、120haにもおよぶ桃畑が広がります。



春



秋

ホタルの乱舞

6月中旬から下旬が見ごろで、最盛期には一晩で数百匹のホタルが乱舞。「うぶかの郷」や「産ケ沢ホタル自然公園」などに出現し、流れるような無数の軌跡を鑑賞することができます。



鮮やかに染まる陣屋の杜公園

11月中旬には紅葉が鮮やかに彩り、真っ赤なじゅうたんが敷かれたような景色が見られます。秋のやさしい日差しが木々の間から降り注ぎ、心癒される空間です。



冬

情緒あふれるうぶかの郷

日帰り入浴もできる宿泊研修施設。冬は周囲の山々が雪に覆われ、幻想的な景色を作り出します。良質なお風呂は美肌の湯として評判で、館内では、地元の野菜や土産品なども販売しています。





若者定住

若者の定住を しっかりサポート

生まれ育った桑折町に住み続けたい、住みやすく、子育て支援が充実している桑折町で、子どもたちをのびのびと自由に育てたいと思う若者世帯の経済的負担の軽減を図るため、桑折町はさまざまな支援制度を整えています。

新婚世帯へ、最長2年間、家賃支援として上限月額1万円を交付する制度や、マ



イホーム（中古住宅を含む）を新規取得およびリフォームした若者へ、最大60万円の補助金を交付する制度などを設置し、一人一人のこおり暮らしをしっかりと応援しています。

福祉

住む人の 幸福のために

人生100年時代と言われる今日、心も体も健やかにいきいきとした生活を送るために、町ではさまざまな取り組みを実施しています。今後ますます進む高齢化に備え、住み慣れた地域で安全安心な生活を送るため、町社会福祉協議会と連携しながら、介護予防や福祉サービスの充実を図っています。また、高齢者



が生きがいをもてるような生涯学習事業も展開。高齢者が新たな知識を学び、同世代で交流する高齢者学級や子どもたちに遊びを教える地域クラブなど、社会とつながりをもてる活動も充実しています。

健康

心も体も 健康で幸せに

人々が元気に、いきいきと暮らすことによって、町に活気があふれます。

町では、子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔で安心して暮らせるように、食・運動・社会参加を促進するため、健康増進事業を展開し、健康環境を整えています。

令和2年度には、さまざまな機関や企業、そして、町民



が「一丸となって健康づくりに取り組む」「こおり健康栄会」を設立。医師などの専門家による講演会や企業と連携した測定会、健康長寿を目指す「いきいき百歳体操」などの事業を展開しています。

咲き誇る桑折の 笑顔

町民の笑顔が彩るぬくもりのまち。
あちこちで笑顔が咲き誇る我がふるさと。
朗らかな人々の何気ない毎日。
町民一人一人が幸せな生活を送るためにみんなで育む絆。
親から子へ子から孫へ、豊かな心を育み、
世代間交流を進め、だれもが社会参加できる、
「町民主役のまち」が、ここにあります。

町民の笑顔が彩る ぬくもりあるまち

自分の生き方を自由に選べる時代において、理想の未来を実現するために、町は一人一人に寄り添った若者定住支援や子育て支援を充実させています。子どもたちの健やかな笑顔、若い世代の希望に満ちた表情は、町民みんなの宝で



す。未来を担う次世代を町全体で応援し、子どもたちやお父さん、お母さんの笑顔を広げていきます。



また、いくつになっても、この町に住み続け、この町を見守りたい。そんな気持ちに込めるために、さまざまな福祉サービス・健康増進の取り組みも充実しています。いきいきとした笑顔の源は、やはり健康が一番です。健康で明るい毎日を送り、幸せを実感できるように、世代を超えて絆を深めながら、町民みんなの笑顔が彩る、ぬくもりあるまちを創っていきます。





商業 Commerce

魅力ある商店街づくり 民間の力を最大限活用

本町の中心部を通る旧国道4号沿いには、長さ1・5キロも続く商店街が形成され、飲食店や菓子店などが立ち並んでいます。他にも、町内には、新鮮な食材や日用品がそろうスーパーマーケットやホームセンター、深夜も営業しているコンビニエンスストアやドラッグストアなどが立地しており、町民の

日常生活を支えています。

さらに、一層の商業環境充実を図るため、「商業施設を核としたここにしかない複合施設」を誘致しました。地元農産物を扱う直売所付きのスーパーマーケットやキャンプやグランピングを楽しめるアウトドア施設の設置が予定されており、利便性向上、にぎわい創出が期待されます。良好な地域社会が持続的に発展するよう、今後も継続して商業振興に取り組んでいます。

町の魅力を掛け合わせた商品を開発

手作り菓子工房 大野屋 大野 雅史さん

桑折町は、四季折々おいしい果物がたくさん採れる地域です。町自慢の果物を使ったスイーツを一年通して店に並べ、訪れるお客様を楽しませたいです。今後も町とのコラボ商品を開発し、商業を盛り上げていきたいです。



工業 Industry

優良企業が集積 全国から注目高まる

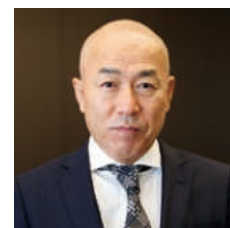
町内総生産額（平成30年度）の6割以上を第2次産業が占めており、中でも製造業が約296億円と本町の産業をけん引しています。工業団地やその周辺では、自動車部品製造業の日立アステモ株式会社や曙ブレーキ工業株式会社がはじめ、電気機器器具製造業の旭計器株式会社、食品製造業のフク

シマフーズ株式会社など、多くの優良企業が集積しており、工場規模の拡大や従業員数の増加が進んでいます。令和3年には、物流業界の株式会社ロジコムが新たに進出しました。伊達桑折インターチェンジ、桑折ジャンクションが完成したことで、改めて本町の地理的優位性、周辺における産業集積への期待が高まり、全国各地から注目が集まっています。



産業の活性化で、町の地域創生に貢献

日立Astemo株式会社 福島工場長 美馬 紀之さん
車社会をけん引する技術力と未来を切り開く創造力で世界に貢献するとともに、産業の活性化、町内の雇用の確保などを通じて、桑折町の地域創生に貢献していきたいです。



個性を生かした 産業の振興

農業 Agriculture

豊かな風土と生産者の プライドが育む農産物

のどかな田園と果樹畑が広がる桑折町では、さまざまな農作物が栽培されています。中でも、あんぼ柿は、福島県が発祥の加工品です。桑折町を含む伊達地方は、一大産地として知られています。いわゆる干し柿との大きな違いは、半生のような食感で、色がきれいな餡色であること。加工工程に

において、水分を多く残して乾燥させ、硫黄で燻蒸し、おいしくなるように丁寧に管理しています。

また、桑折町はりんご「王林」の発祥地でもあり、この他にも、豊かな土壌を生かして、米やそば、いちご、ぶどう、きゅうり、アスパラガスなど、多種の農作物を育てています。これらを活用した6次化商品も次々に開発され、年間を通して、町のおいしい食材を楽しめる逸品が多くそろっています。



魅力ある農作物を後世に継承

あんぼ柿生産者 浅野 真一さん

あんぼ柿をはじめ、桑折町には魅力ある農作物が数多くあります。担い手の高齢化も叫ばれていますが、次世代を担う一生産者として、これまで築き上げた品質の継承、6次化商品の開発などを通し、町の農業発展に貢献したいです。



● 半田銀山そば

町産のそば粉を使った十割そば。香りや口当たりが良く、コシのある食感が特徴です。



● 辛口桑折

町産の酒米「夢の香」を半田山の地下水「香村金剛水」で仕込んだ香り豊かな純米吟醸です。



● SOLDER CRAFT

町発祥の王林をはじめ、季節の農産物を使用した地ビール。町内の醸造施設で手掛けています。

桑折の逸品

豊かな自然を生かした良質な食材で手掛けるこだわりの逸品。大切な人への贈り物にもおすすめです。

そして未来へ。

総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」を策定

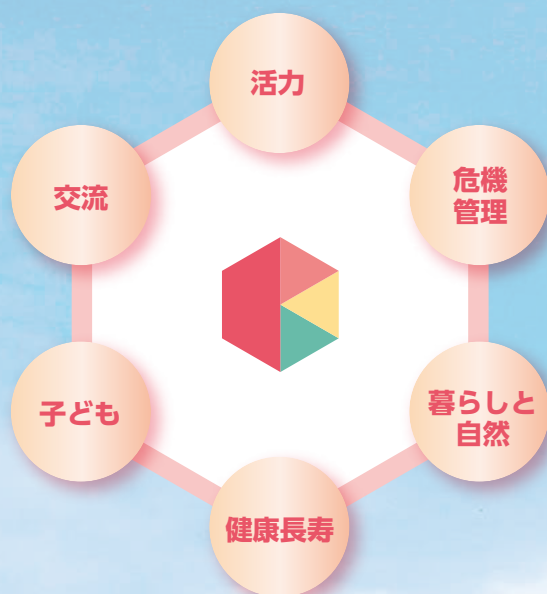
町では、令和4年度から向こう10年間を見据えた総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」を策定しました。
将来像や基本計画の実現に向けて、さまざまな施策を展開します。

将来像・10年後の理想の町の姿

「みんなが幸せを実感できる
元気なまち こおり」

「住み続けたいまち
住みたいまち こおり」の実現

6恵6幸こおり 未来プラン



重点プロジェクト

分野横断的な取り組み

- 1 「21世紀の追分」プロジェクト
- 2 「安全・安心なまち」推進プロジェクト
- 3 「環境に優しいまち」推進プロジェクト
- 4 「健康で生き生きと暮らせるまち」推進プロジェクト
- 5 「桑折っ子」育成推進プロジェクト
- 6 「心地いいまち」推進プロジェクト

基本構想における6つの方針

町民との共創と効率的な財政運営

- 1 活力と賑わいに満ちたまちづくり
- 2 危機管理に備えた安全安心のまちづくり
- 3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり
- 4 健康長寿で元気なまちづくり
- 5 子どもを大切にすまちづくり
- 6 交流で絆を育むまちづくり

地方創生 SDGs推進の町

総合計画では、世界の共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念に基づき、さまざまな施策を展開していきます。



「21世紀の追分」から全国へ町の魅力を発信



伊達桑折インターチェンジや桑折ジャンクションが完成したことで、さらに県内外や都市部へのアクセスが向上しました。交通網が整う一方、豊かな自然も多く残り、緑に囲まれながらも快適な暮らしを満喫できます。

「21世紀の追分」に 地理的素質を生かし

令和3年に開通した、東北中央自動車道「相馬福島道路」。常磐自動車道(相馬市山上)と東北自動車道(桑折町松原)を結ぶ約45kmの自動車専用道路です。東日本大震災からの復興を図る重点プロジェクトとして、被災地と内陸部の連携強化を目的につくられました。かつて奥州・羽州の分岐点「追分」として栄えた桑折宿のように、浜通り・宮城・山形・東京各方面への結節点である桑折ジャンクションを「21世紀の追分」として、この地

理的優位性を最大限に生かす取り組みを進めていきます。

伊達桑折インターチェンジや桑折ジャンクションが出来たことで、県内外へのアクセスが向上しました。また、インターチェンジ周辺に大型複合商業施設の出店(2024年冬開業予定)が決まるなど、本町に追い風が吹く中、流れに乗ってポテンシャルの高さを十分に生かし、多くの人を呼び込む仕組みをつくっていきます。

今後も企業誘致により、町内の国内総生産額増加や雇用創出による人口増加、所得の向上、交流・関係人口の創出につなげていきます。

未来を担う子どもたちの成長を町全体で応援



職場や家庭など、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常となる今、社会を生き抜く力を育むため、児童生徒一人一台タブレットを配布し、将来を見据えた新たな学びを推進していきます。

妊娠から子育て期まで 切れ目なく支援

未来を担う町の宝である子どもたちが、豊かに伸び伸びと成長しているよう、安心して子育てができる環境づくりを進めています。

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援として、出産時の育児用品のプレゼントや、幼稚園・小中学校の制服贈呈のほか、給食費について、幼稚園は無料、小中学校は半額助成するなど、手厚い支援が充実しています。さらに、子育て世代包括支援センター「すくすく」では、出産前や子育て中のお父さん、お母さ

んなどを対象に、さまざまな支援を行っています。

また、学校現場では、教育理念である「人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子」の育成を目指し、幼・小・中一貫した方針のもとで、家庭・地域とも連携しながら、教育・保育を行っています。情報社会に対応するため、県内他市町村に先駆けて、平成22年度に町内小・中学校の各教室へ電子黒板を設置。令和2年度には児童生徒に1人1台のタブレットおよび通信ネットワークを整備し、新たな学びを展開しています。



桑折ガイドマップ

KOORI GUIDE MAP

四季折々の風景の中に、町の史跡や観光スポットが息づく桑折。その一つ一つの魅力が輝いて、人々の交流を生み出しています。



半田山自然公園

桜や山野草、新緑、紅葉など、四季を通じて自然を楽しむ憩いの場。花見やサイクリング、キャンプ、紅葉狩りなど、さまざまな形で大自然と触れ合うことができる多目的公園です。



宿泊研修施設「うぶかの郷」

日帰り入浴もできる宿泊研修施設。高濃度アルカリ性のお風呂は美肌の湯として評判で、大自然の中で心と体を一休みできます。広々としたロビーでは、地元の野菜や土産品なども販売しています。



史跡桑折西山城跡

伊達氏14代植宗が戦国時代の1532（天文元）年ごろ本拠として築いた巨大山城。地形を生かした山城として知られ、国の史跡にも指定されています。令和3年に全国山城サミットの会場になりました。



万正寺の大カヤ

県指定天然記念物。樹齢約700年（推定）で、幹回りが約9m、枝張りが約30mに達し、カヤの巨木としては国内随一の大きさ。根本からは、鎌倉時代の陶器が出土し、県重要文化財に指定されています。



旧伊達郡役所

1977（昭和52）年6月27日に国の重要文化財に指定された桑折町のシンボリックな建物です。1883（明治16）年の建築物で、基礎は石積み。総2階建てで中央塔屋を設けるなど、擬洋風建築となっています。



桑折町役場

令和3年1月に開庁した新庁舎。町の新たなランドマークとして、皆さんに親しまれる庁舎を目指します。半田山から切り出したヒノキ材を使用。災害に備えて耐震性を強化し、発電機も導入しました。



屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ」

「屋内温水プール」や、子どもが元気いっぱい安全に遊べる「屋内遊び場」が備わった施設です。さまざまなイベントや各種教室などにも利用できる多目的スタジオも備えています。



Legare Koori（レガーレこおり）

幼稚園舎をリノベーションした桑折町の魅力を発信する交流拠点。施設内のレストラン「PizzaSta（ピザスタ）」では、地元の旬の果物や野菜がトッピングされたピザなどが味わえます。



阿武隈川多目的親水公園「ピーチリパーク157」

令和4年春に完成した、自然豊かな水辺と桃源郷を活かした多目的広場。カヌーやサイクリングなどのレジャーを楽しむことができ、幅広い年代の人々が集まる交流の場となっています。



「献上桃の郷」行幸啓記念碑

桑折ピーチライン沿いの「桃の郷ポケットパーク」向かいにある記念碑。平成25年と27年に天皇后両陛下が来町し、樹園地の視察に訪れたことを記念して建てられました。



交通アクセス

意外と近い桃のまち

桑折町は交通網が整い、県内をはじめ、宮城県、山形県、東京都など各方面へのアクセスがしやすく、非常に交通の利便性が良い立地にあります。「意外と近い桃のまち」をキャッチフレーズに、桃の繁忙期には、高品質な桃を求め、県内外各方面から多くの人々が訪れています。

車でお越しの方

仙台から55分
仙台・東北自動車道【50分】▶伊達桑折IC-国道4号【5分】▶桑折

相馬から45分
相馬・相馬福島道路【40分】▶伊達桑折IC-国道4号【5分】▶桑折

東京から3時間45分
東京・東北自動車道【220分】▶伊達桑折IC-国道4号【5分】▶桑折

JRでお越しの方

仙台から60分
仙台・東北本線（普通）【60分】▶桑折

東京から1時間43分
東京・東北新幹線【90分】▶福島・東北本線（普通）【13分】▶桑折

町のシンボル

町章

上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表す。全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山を象徴しています。

花「モモ」

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実はくだものの町を代表する逸品です。

木「アカマツ」「カヤ」

桑折の大地が育んだ緑。どしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

鳥「カッコウ」

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。

地方創生SDGs推進の町宣言

再生可能エネルギー推進の町宣言

非核平和の町宣言

数字で見る桑折町

人口

11,422人

男性 5,519人 女性 5,903人

(住民基本台帳より、令和4年1月1日現在)

世帯数

4,626世帯

(住民基本台帳より、令和4年1月1日現在)

面積

42.97km²

農産物「桃」

平成6年から毎年「献上桃」に選ばれている桑折町。平成28年には、「献上桃の郷」の商標登録が認められ、町産桃のブランド化がより一層推進されています。

産出額

献上桃に選ばれて

全国第8位

(令和元年市町村別農業産出額データベースより)

連続28年

(令和4年1月1日現在)

待機児童数

0人

待機児童ゼロの堅持をはじめ、保育料軽減や給食費の軽減、制服贈呈など、積極的に子育て支援策を展開しています。

マイナンバーカード取得率

県内第2位

全国第17位

(令和4年1月1日現在)

人口に対するマイナンバーカード取得率は、全国の市区町村中17位、県内2位です。夜間・休日窓口を開庁するなど、申請しやすい環境づくりに努めています。

交通安全

死亡事故ゼロ

3,000日達成

令和3年10月24日をもって、交通事故死者ゼロ3千日を達成しました。国道4号線や高速道路など、交通量が多い中でも、町民一人一人の交通安全意識の高さや各種団体の取り組みなど、安全な交通環境づくりが進められ、3千日を達成することができました。

幸福度

街の幸福度ランキング

県内第3位

民間不動産会社の大東建託㈱が行った居住満足度調査に基づく「いい部屋ネット 街の幸福度ランキング&住みたい街ランキング2021」にて、桑折町が福島県の「街の幸福度ランキング」で59市町村中3位になりました。

総生産（製造業）

ランキング

【町村の部】

県内第3位

29,639百万円

製造業の市町村内総生産は、町村の部で西郷村、矢祭町に次いで、第3位となっています。（平成30年度）